



金沢

金沢 ポートガイド

Kanazawa Port Guide



シャトルバスの運行

港からJR金沢駅までシャトルバスで約20分。

帰船時間（自由行動の方々）

未定

観光情報は、こちら！

【窓口・電話対応】

石川県金沢観光情報センター
〒920-0858 石川県金沢市木ノ新保町1番1号 金沢百番街「ふれあい館」内
電話076-232-6200

【HP・電話対応】

石川県観光連盟
〒920-8203 金沢市鞍月1丁目1
電話076-201-8110
URL：<http://www.hot-ishikawa.jp/>

金沢市観光協会

〒920-0858 金沢市木ノ新保町1番1号 金沢百番街内
電話076-232-5555
URL：<http://www.kanazawa-kankoukyoukai.gr.jp/>

船舶代理店

金沢港運 船舶代理店課
電話076-268-1811
〒920-0211 金沢市湊4丁目11番地



兼六園

1970年に開港した金沢港は日本海側にあり、ほぼ日本の中心に位置します。「大坂」行きの船の出発地点となった金沢港は、賑やかな輸送貿易を通して江戸時代に繁盛しました。北陸の政治経済都市、金沢は港の後背地であり、金沢港は石川県のビジネスと産業の基盤を築いてきました。それは韓国、中国、北アメリカ、東南アジア、そして世界中の国と結ぶ国際定期貨物船のルートが開設されています。

金沢港の特長は市街地まで約5kmという近距離であること、また北陸の主要観光地へのアクセスにも便利なこと。多くの人気観光スポットは金沢中心地に集結しているため、クルーズ船寄港の際には充実した一日を過ごせることでしょう。街から離れて足を延ばせば能登半島、加賀温泉郷、世界文化遺産の白川郷・五箇山（岐阜・富山）、永平寺・東尋坊（福井）も日帰り観光できる範囲にあります。

古い街並みの中に新しい建築物が共存する、歴史と現代美術の調和が

とれた城下町・金沢。年間700万人以上の観光客が訪れ、見どころは満載です。金沢城公園と兼六園を中心に、これを囲む形で繁華街（香林坊・片町、武蔵、金沢駅周辺）が広がっています。

芸術鑑賞がお好きな方は兼六園周辺へ。県立美術館、金沢21世紀美術館、中村記念美術館などの美術館や博物館が多く点在します。工芸品に興味のある方にはショッピングだけでなく手作り体験もおススメ。モノづくり文化が発達した金沢では金箔、九谷焼、加賀友禅、漆器を体験できます。

また、芸妓文化が今も残る茶屋街や、侍文化を垣間見ることが出来る長町武家屋敷跡を散策すると、風情を感じていただけるのではないのでしょうか。

金沢観光が初めてでなければ、自然が豊かな北は能登半島、南は加賀温泉郷にまで行ってみたい。世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」にふれたり、「霊峰白山」の恵みによる加賀の温泉で癒されるのも貴重な経験になることでしょう。



① 兼六園

金沢のイメージとしてことじ灯籠を思い浮かべる人も多いはず。その灯籠が置かれている兼六園は、水戸の偕楽園、岡山の後楽園とともに日本の三名庭園の一つで、ミシュランガイドでも最高ランクの三つ星に選ばれています。加賀藩前田家の庭園として造られ、江戸時代(1600~1867年)の間、長い年月をかけて形づくられてきました。四季折々の自然美を堪能でき、一年を通して日本全国、世界各地から観光客が訪れます。隣接して金沢城が並び、周辺には伝統工芸館や美術館、繁華街が徒歩圏内にあるため、ここから金沢観光をスタートするのもお勧め。

② ひがし茶屋街

金沢にある三茶屋街の一つで、規模はここが最大。石畳に紅殻格子と黒瓦の美しく古い町並みが残り、昔の面影をとどめています。江戸時代に始まったひがし茶屋街は、平成13年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。今でも一見さ

んお断りの伝統を守りながら営業しているお茶屋もあれば、昼間は内部を見学できる施設もあります。灯がともる頃には、三味線や太鼓の音が聞こえてくることも。また、茶屋を改装した喫茶店やお土産屋などもあり、人気の観光スポットです。

③ 長町武家屋敷跡

長町界隈は、かつて加賀藩の上・中級武士が住んでいた屋敷跡であり、土堀の続く町並みの中で、今も市民生活が営まれています。家屋の様子は変わってしまったものの、細い路地や土堀・長屋門を散策すれば、風情ある雰囲気を感じることができるはず。屋敷跡として唯一、一般公開されている野村家では、当時の生活様式を見学できます。また、周辺にはお土産屋や休憩場所があり、繁華街にも近いことから気軽に立ち寄れます。

④ 21世紀美術館

2004年10月にオープンした、新しいスタイルの美術館は毎年150万人が訪れる

人気の観光地となっています。ガラス張りの円形美術館の愛称は「まるびい」。市の中心に位置し、「まちに開かれた公園のような美術館」を建築コンセプトとし、誰もがいつでも立ち寄ることができ、様々な出会いの「場」となるような美術館を目指しています。

館内は有料の展覧会ゾーンと無料の交流ゾーンに分かれています。美術館内外には触れる、乗れるなどの五感を使った体験型の現代美術品が多く、大人も子供も楽しめます。

⑤ 近江町市場

始まりは1721年。以来、約300年、金沢の食文化を支える「市民の台所」として親しまれています。鮮魚、青果、惣菜など約180店がひしめきます。繁華街の香林坊からも比較的近く、金沢ならではの観光名所として知られています。

平成21年4月に「近江町いちば館」が誕生。日曜営業も始まり、新たな賑わいを見せています。

足を延ばして



⑥ 加賀温泉郷

石川県には多くの温泉がありますが、中でも有名なのが加賀温泉郷。四季折々の自然美に癒される山中温泉、加賀最古の温泉であり美人の湯といわれる粟津温泉、北大路魯山人など多くの墨客文人が愛した山代温泉、柴山瀧の湖畔にたたずむ風光明媚な片山津温泉と四つの名湯があります。金沢市からのアクセスが約1時間と日帰りにも便利。



⑦ 能登半島

古くからの自然や文化が残る能登半島。その豊かさが評価され2011年には日本初の「世界農業遺産」に認定された。白米千枚田、ヤセの断崖、和倉温泉、能登島、千里浜なぎさドライブウェイなど広範囲にわたり、見どころがいっぱい。豊富な海の幸も魅力。

最寄り駅から港までの所要時間

JR「金沢駅」より

■タクシーで約15分。

「小松空港」より

■JR金沢駅まで特急バス、タクシーで約40分。

ターミナル所在地

〒920-0332 石川県金沢市無量寺町り部80
電話076-268-1288



金沢

おすすめグルメガイド

海の幸、山の幸が揃い、新鮮で質の高い食材が豊富な石川県。グルメは金沢観光の魅力の一つです。伝統的加賀料理を味わえる料亭からフレンチ、イタリアン、創作料理、また近年ではB級グルメなど。幅広い選択肢からきっと皆様の食べたいものが見つかります！



寿司

日本海の新鮮なネタがそろふことから、金沢には美味しくリーズナブルな寿司屋がたくさんあります。近江町市場やいきいき魚市をのぞいて、新鮮な魚をその場で食すことも、宅配便で送ることも可能です。春はカレイ、夏はイカ、秋は甘エビ、冬はズワイガニなど、旬の魚介を金沢でお楽しみください！



加賀懐石

金沢では地元の食材を「じわもん」と呼び、加賀れんこん、金時草などの加賀野菜を使う料理に親しんでいます。そんなじわもんや山海の旬の素材を、料亭や割烹では優しく上品な味に調理しています。また、九谷焼や山中漆器、輪島塗などの器と美しい盛り付け方にも注目ください。



和菓子

茶の湯の文化が栄えた加賀藩政時代から、和菓子も同時に発展してきました。金沢の人々の間では、いつしか生活になくはないものとなり、銘菓もたくさんあります。見た目も芸術品のように楽しませてくれ、味にも自信のある和菓子はお土産にもピッタリです。また、お茶と共に生菓子を味わってみてはいかがでしょうか。